

○文教大学 林薫教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「持続可能な開発目標とは何か？」

☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 S.Nさん

先日の講義ではありがとうございました。講義を受けて「グレートクラッシュ」という言葉が印象に残りました。ビックヒストリーから見た現代社会の人口が増えて急激に下がるというグラフに驚きました。いかに私たちが化石燃料に依存しているかを知ると同時に、急激な人口の減少により人類が滅亡してしまうという資料を見て、恐ろしくなりました。化石燃料は有限であり、私たちが制限して使えるかどうかで未来が変わってしまうので、今贅沢をするのではなく、使い方を考えていかなければならないと気づきました。そのため私は、化石燃料ではなく再生可能エネルギーを使う割合を増やすべきだと考えました。再生可能エネルギーは、天候に左右されやすいなどのデメリットもありますが、化石燃料のように偏在しないため争いが起こりづらそうだと思ったからです。調べてみたところ、日本のエネルギー自給率は8%と低く、国外のエネルギーに頼っていることが分かりました。もし資源がなくなってしまった場合、争いが起こり化石燃料の輸入ができなくなるのではないかと思います。そのため、もっと再生可能エネルギーを広めるべきだと思います。

私はもともと世界の文化に興味があり、将来海外へ行きたいと思っていましたが、今回の講義で国際関係には様々な視点が必要だということがわかり、より強く世界に興味を持ちました。日々ニュースを見て自分に置き換えて考えてみたいと思いました。ありがとうございました。

1年 I.Rさん

MDGsは「一日1ドル以下で生活する人を半分にしよう」を目標の1つに掲げており、数としては達成できました。しかし、急速に経済が発展した中国やインドでは貧困が減っても、アメリカでの貧困は減っていませんでした。私は、MDGsが達成できたからSDGsが新しく生まれたと思っていましたが、あくまで統計的な達成であり、実際の解決には至っていないということを初めて知りました。SDGsは「持続可能な開発目標」を掲げていますが、今人類は化石燃料なしでは生活できないほど依存しています。しかし、化石燃料は有限でいつか尽きてしまいます。当時のノルウェー首相で「環境と開発に関する世界委員会」の委員長であったブランドラント氏は、「現在のニーズに合わせつつ将来のことも考えなくてはならない」と発言していますが、私はこの発言に大きな矛盾を感じました。化石燃料が使われるようになったからこそ人口や資源が増え、争いも無くなり戦争が減ったにもかかわらず、このままでは未来へ資源を残せないからです。資源が溢れている今、人口を減らすことは困難なので、自分のことばかりを考えるのではなくみんながみんなを考えて行動していかなければなりません。今後は、風力発電や太陽光発電などの尽きることのない資源を使って環境について考えていく必要があると思います。